

石原産業長期ビジョン「Vision 2030」

中期経営計画「Vision 2030 Stage I」

2021年5月24日

石原産業(株)

URL <https://www.iskweb.co.jp>

＜お問い合わせ先＞

取締役常務執行役員

財務本部長 川添 泰伸

社長ごあいさつ

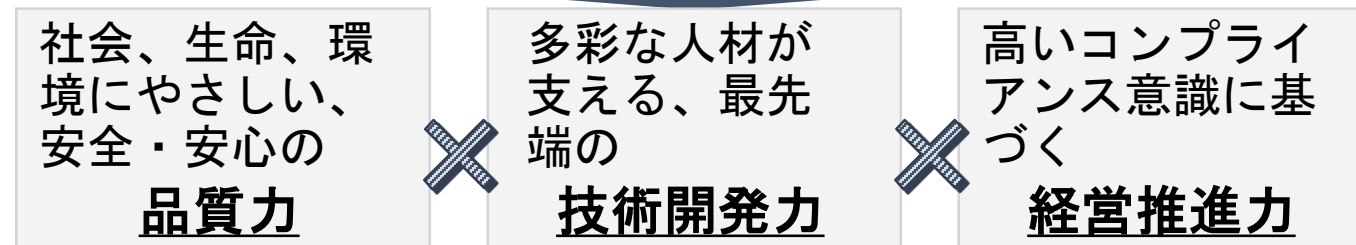
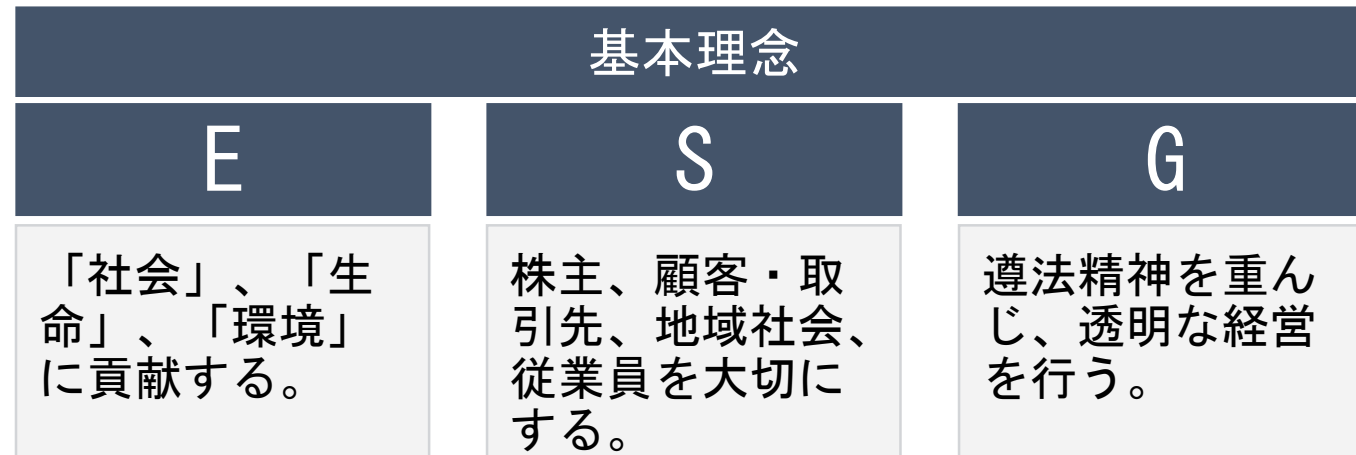
- 2020年度 決算概要
 - 石原産業長期ビジョン「Vision 2030」
 - 中計経営計画「Vision 2030 Stage I」
-
- 将来見通しに関わる記述についての注意事項
 - このプレゼンテーション資料には、公表時点での将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。日本及び海外の経済情勢・需要動向・競合状況・為替の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

2020年度 決算概要

(単位; 億円)	2019年度 実績	2020年度 実績	増減	2020年度予想 (2021年2月)	差異
売上高	1,010	1,017	7	1,000	17
営業利益	61	51	△ 10	35	16
経常利益	53	59	5	33	26
純利益	23	33	10	13	20
配当(円／株)	20	18	△ 2	12	6

石原産業長期ビジョン 「Vision 2030」

石原産業とは



企業理念とDNAに基づく石原産業の3つの強み

行動基準

- 社会から信頼される事業活動を行うため、社会規範、法令、会社の諸規定を遵守し、高い倫理観と良識をもって行動する。
- ものづくりに際しては、地球環境との調和を図り、常に安全確保に万全を期し、無事故・無災害に努める。
- 相互協力、相互理解により人権を尊重し、風通しのよい働きやすい職場をつくる。
- 企業活動の透明性を保つため、企業市民としてコミュニケーションを重視し、企業情報を適時、的確に開示する。

石原産業DNA

創業者から受け継いだ「**挑戦心**」

**存在意義（Purpose）＝
化学技術でより良い生活環境の実現に貢献し続ける。**

「Vision 2030」

気候変動

メガトレンド

資源不足と食糧問題

都市化

ITの急速な発展

株主・投資家
地域社会

顧客・取引先
従業員

世界人口増と高齢化

Vision 2030

「独創・加速・グローバル。化学の力で暮らしを変える。」

①事業がステークホルダーへ提供する価値（各事業での取り組み）

無機化学 酸化チタンで培った技術をベースとした新たな価値を創造し、環境ならびに情報化社会を支えて持続可能な社会の実現に貢献する。

酸化チタン→さまざまな色彩の提供

機能性材料→さまざまな快適を作る

環境商品→革新と環境保全の両立

- 酸化チタンの光学的特性を多様化させて、新たな価値創造を実現
- ICT普及や自動車EV化などの社会課題解決に機能性材料で貢献
- 生産構造改革により環境負荷低減と生産効率化とを両立

有機化学 顧客の価値向上に直結する独自製品を世界中に供給し、人々の食、健康、生命を支えて持続可能な社会の実現に貢献する。

農業→農作物の生産の安定と品質の向上

動物用医薬品→ペットの生命保護

医薬→医療への貢献

- バリューチェーンを意識した開発・商業化の推進
- 自社技術の錬磨・進化による価値創造加速と成長路線復活
- 主力製品の世界一低コスト製造と顧客への安定供給

新規事業、その他

- 新たな事業ポートフォリオを有する会社へ
- チタン、農業以外にも、ESGを意識して資源（ヒト・カネ）を投入し、環境にやさしい製品開発の強化
- 2050年カーボンニュートラルへ向けた推進体制の確立

②経営目標（2030年）

- ・売上高2,000億円超
- ・営業利益率15%以上
- ・ROE 10%以上
- ・安定的な株主還元の継続

持続可能な社会の実現に向けて貢献するとともに、その事業活動を通じて企業価値の向上を両立する。

「Vision 2030」 目標実現への道程

Vision
2030

「独創・加速・グローバル。
化学の力で暮らしを変える。」

独創・加速・グローバル

Vision 2030目標

- ◆ 売上高;2,000億円超
- ◆ 営業利益率;15%以上
- ◆ ROE;10%以上

Vision 2030

StageⅢ

・ FY2027-2029

Vision 2030

StageⅡ

・ FY2024-2026

StageⅠ 2023年度目標

- ◆ 売上高;1,250億円超
- ◆ 営業利益率;13%以上
- ◆ ROE;10%以上

Vision 2030

StageⅠ

・ FY2021-2023

さらなる企業
価値の向上

技術開発での
社会貢献

企業価値の向
上

化学の力で暮らしを変える

中期経営計画 FY2021-2023 「Vision 2030 Stage I」

株主 / 顧客・取引先 / 地域社会 / 従業員

Vision 2030

「独創・加速・グローバル。化学の力で暮らしを変える。」

中期経営計画「Vision 2030 Stage I」

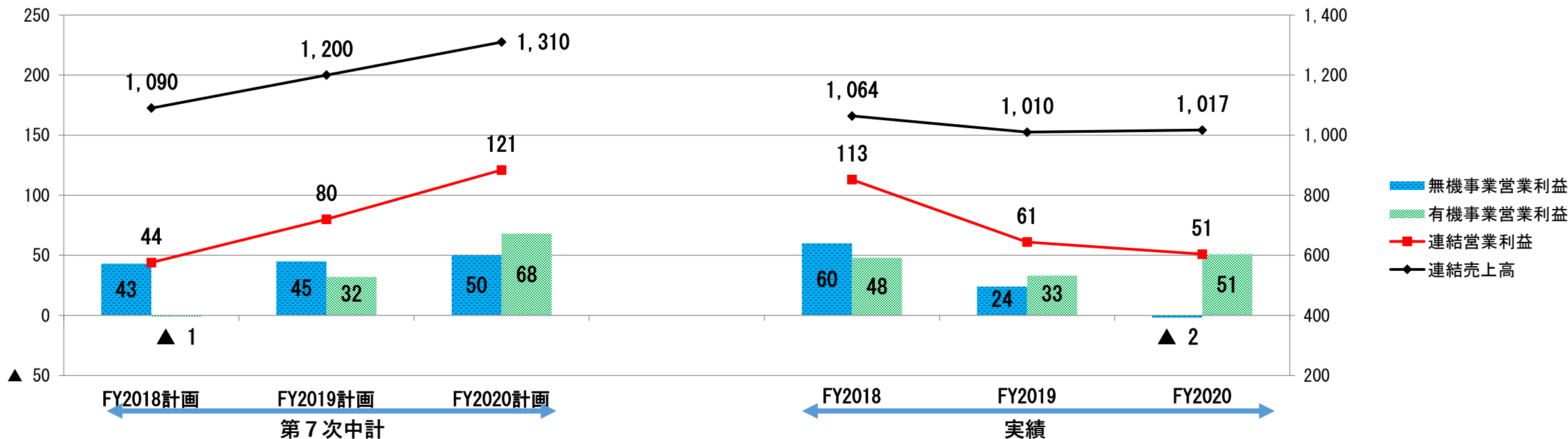
(2021～2023年度)

基本方針

ESG・SDGs視点での経営の取り組み強化を推進することにより、サステナブルな企業価値創造を目指す。

前中計の成果と残された課題

第7次中期経営計画実予対比 (億円)



成果	残された課題
2019年度に復配を達成、2020年度に100周年記念配当を実施。 2019年度にブラジルの農薬製造販売会社Ouro Fino Química Ltda（オウロ フィーノ キミカ）に三井物産株式会社と共同出資実施。 - 動物用医薬品の販売開始。（2018年度～） - 電子部品材料および導電性材料の生産設備増強を子会社富士チタン工業株式会社とともに実施。	- 外部環境に左右されない事業構造の確立。 - 無機化学：米中貿易摩擦(2019年度)、COVID-19(2020年度)による影響 - 有機化学：欧米での天候不順(2019年度)による影響 - 付加価値向上と原価低減の両戦術を確実に実行。 - BCPやリスクマネジメントの徹底により、外部リスクからの影響を最小化しつつレジリエンス（復元力）を高める。 - 出資および設備投資の早期回収。

第7次中期経営計画と実績との対比

第7次中計期間（2018～2020年度）3年間の累計対比（単位：億円）

	前中計	実績	差異
売上高	3,600	3,093	△507
（無機化学部門）	（1,807）	（1,563）	（△245）
（有機化学部門）	（1,695）	（1,422）	（△273）
営業利益	245	227	△17
（無機化学部門）	（138）	（82）	（△55）
（有機化学部門）	（100）	（133）	（33）
経常利益	210	224	15
当期純利益	148	144	△4
為替レート（期中平均）	110.0	108.5	△1.5
（上段円/U\$、下段円/Eur）	130.0	124.1	△5.9

「Vision 2030 Stage I」 経営目標

2023年度経営目標など

- 連結売上高 1,250億円超
- 連結営業利益率 13%以上
- ROE 10%以上
- 株主還元方針
安定的かつ連結業績を反映した配当の継続

	2023年度計画
□ 売上高	1,250億円
□ 営業利益	166億円
(営業利益率)	13%
□ 経常利益	158億円
□ 当期利益	124億円
□ ROE	10%以上

戦略の方向性

□ 経営全般

ESG・SDGs視点でのサステナブルな経営の取り組み強化

□ 無機化学事業

新たな価値創造で環境と情報化社会の進展に貢献

- ・高機能・高付加価値品の拡大
- ・生産構造改革

□ 有機化学事業

世界の人々の食、健康、生命への貢献

- ・強固なグローバルバリューチェーンの確立
- ・地道なコスト低減の継続

□ 研究開発

技術革新への挑戦

- ・定期的な新規剤の創出
- ・ESG配慮製品の開発

「Vision 2030 Stage I」の全体像

Vision 2030

独創・加速・グローバル 化学の力で暮らしを変える

中期経営計画 FY2021-2023 「Vision 2030 Stage I」

各事業の重点施策

無機化学事業

- ✓ 高機能・高付加価値品の販売比率向上
- ✓ 電子部品材料と導電性材料の拡販戦略の実行
- ✓ 更なる成長ドライバとなる新製品の開発加速
- ✓ 主原料鉱石の有利調達の実現
- ✓ 廃棄物低減や製造および業務プロセス改善による四日市工場のコスト削減の推進
- ✓ 製造拠点の最適化に向けたマスタープランの始動
- ✓ 温暖化ガス削減に向けたロードマップ作成

有機化学事業

- ✓ 主力農薬原体の世界一低コスト製造と安定供給により当社世界市場占有率の拡大
- ✓ 次期主力農薬の製造コスト低減と需要拡大
- ✓ バイオラショナル分野の開発・商品化とIPM*深化
- ✓ 農薬の販社複数起用など戦略的・革新的な営業施策の実行
- ✓ 世界各国での農薬登録の取得・維持
- ✓ 他社M&Aや提携推進による事業規模拡大
- ✓ 化学合成技術の錬磨と伝承の基盤強化
- ✓ 動物用医薬品のグローバル展開

*IPM (Integrated Pest Management 総合的病害虫・雑草管理)

両事業共通

- ✓ トップライン（売上）の拡大
- ✓ 新事業/新製品創出力の強化
- ✓ 「Vision 2030」に向けた社内の構造・意識改革

資本政策

- ✓ 株主還元強化（安定的な株主還元継続）
- ✓ 資本コスト経営の徹底～キャッシュ・コンバージョン・サイクル全体の改善など～

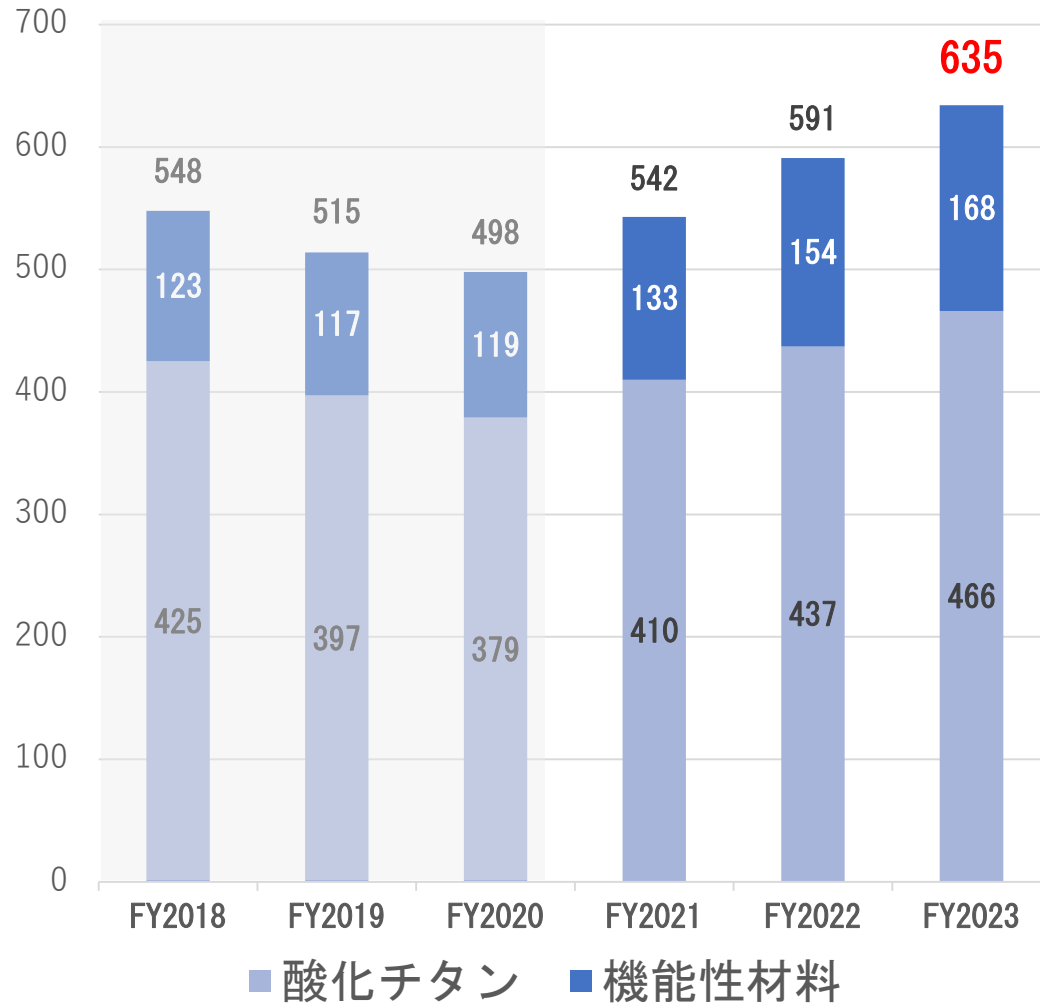
経営全般

SDGs視点でのサステナブルな経営の取り組みの推進・強化

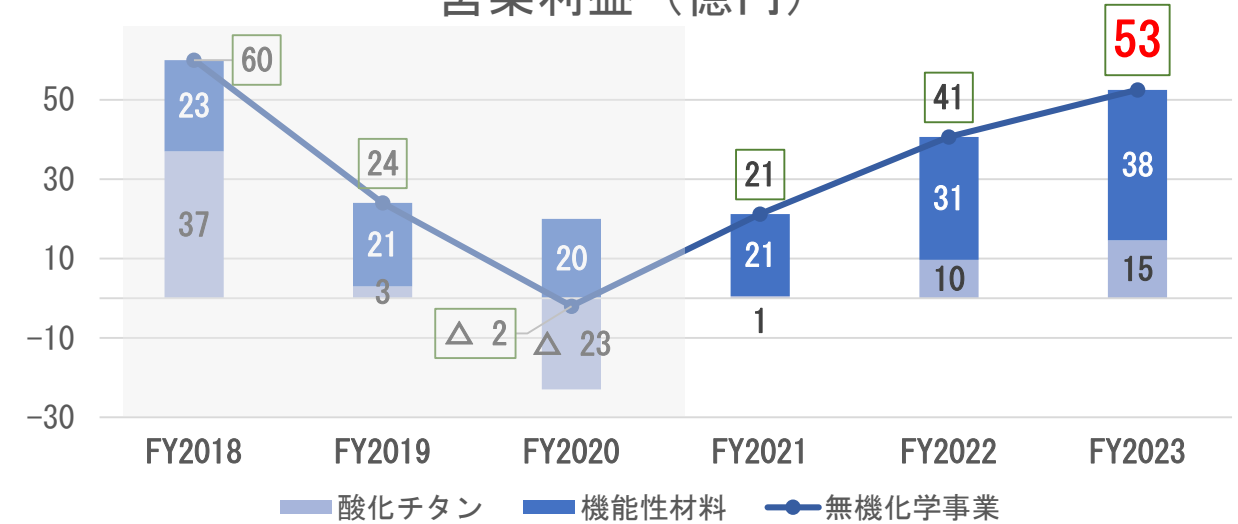
- ✓ ESG・SDGs視点での経営を通じた事業機会の拡大
- ✓ マテリアリティ (SDGs) の特定、マテリアリティに関連する取り組みの強化
- ✓ DXの推進、業務効率化による働き方改革
- ✓ コンプライアンス経営の継続・強化
- ✓ リスクマネジメントの強化

無機化学事業 売上高・営業利益計画(連結)

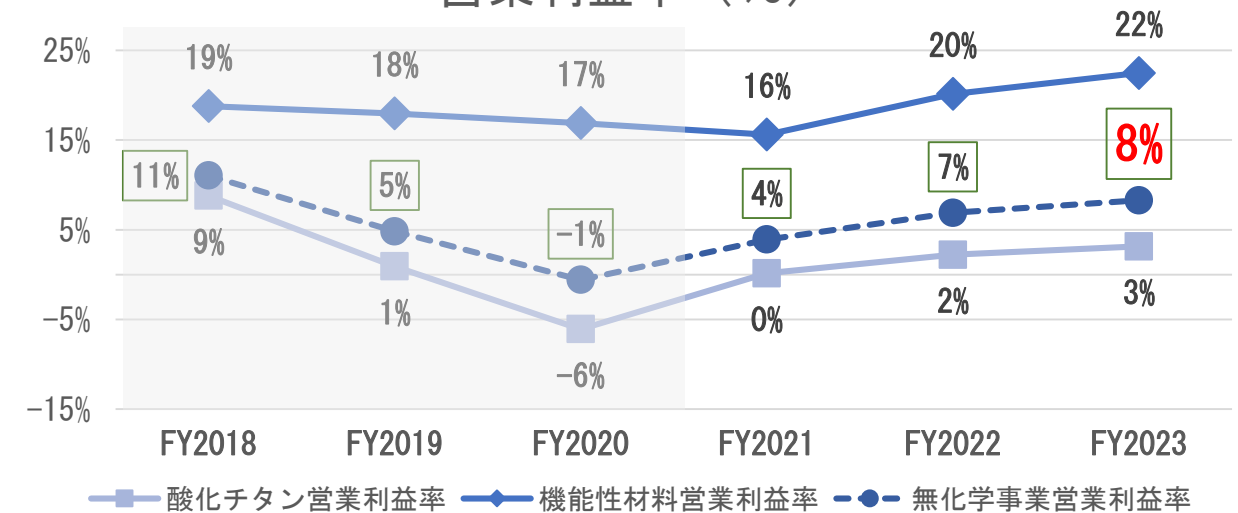
売上高 (億円)



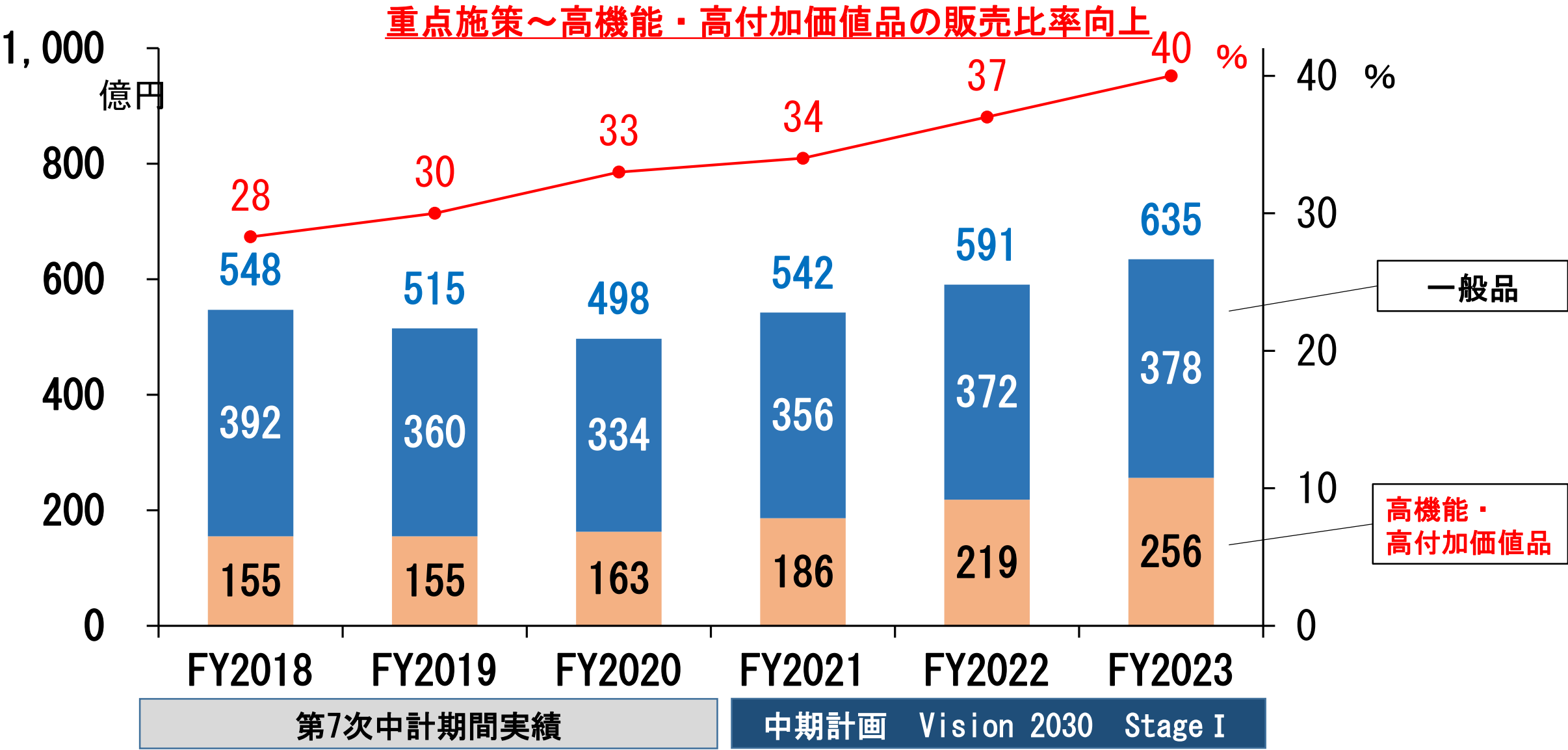
営業利益 (億円)



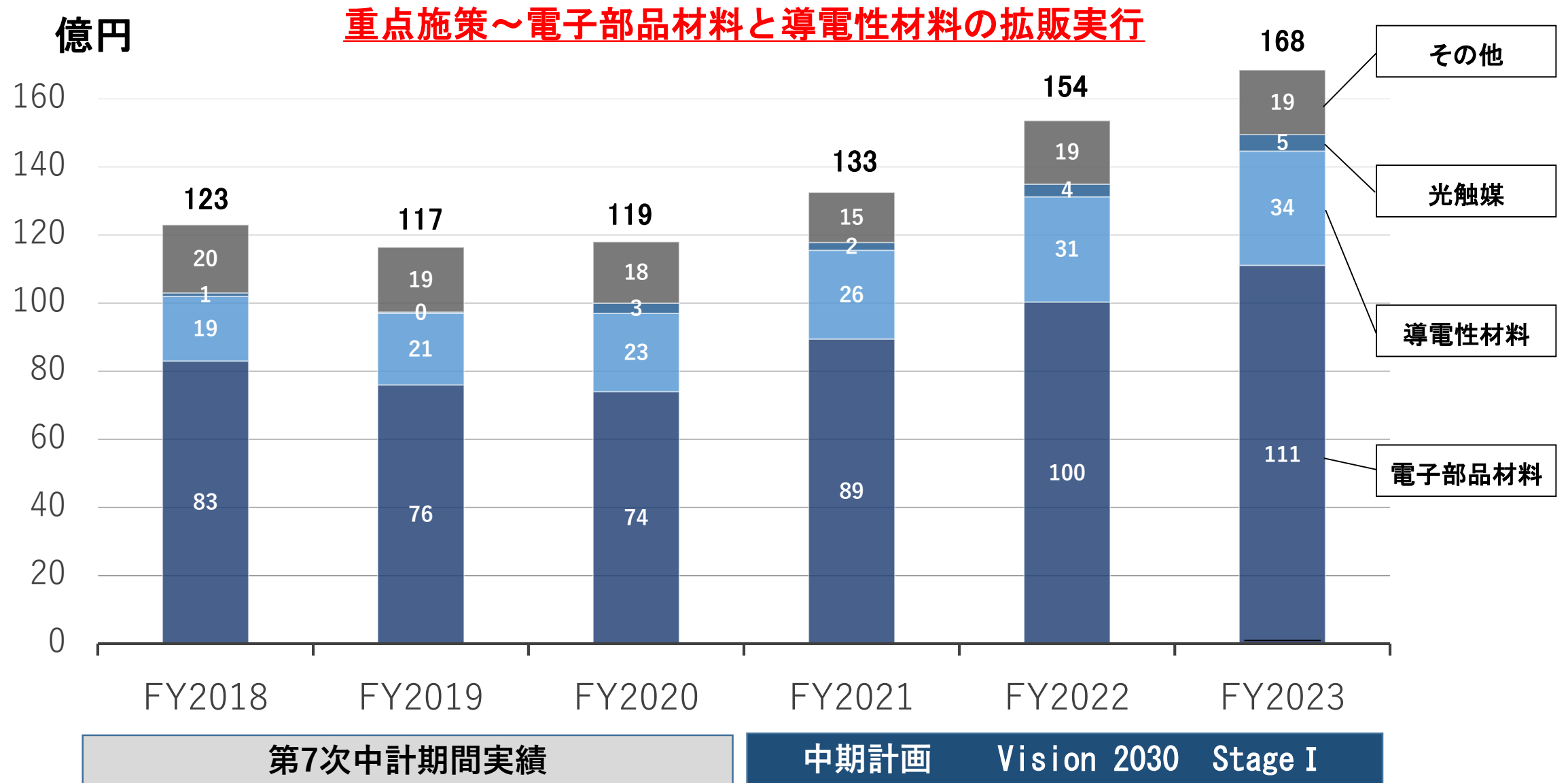
営業利益率 (%)



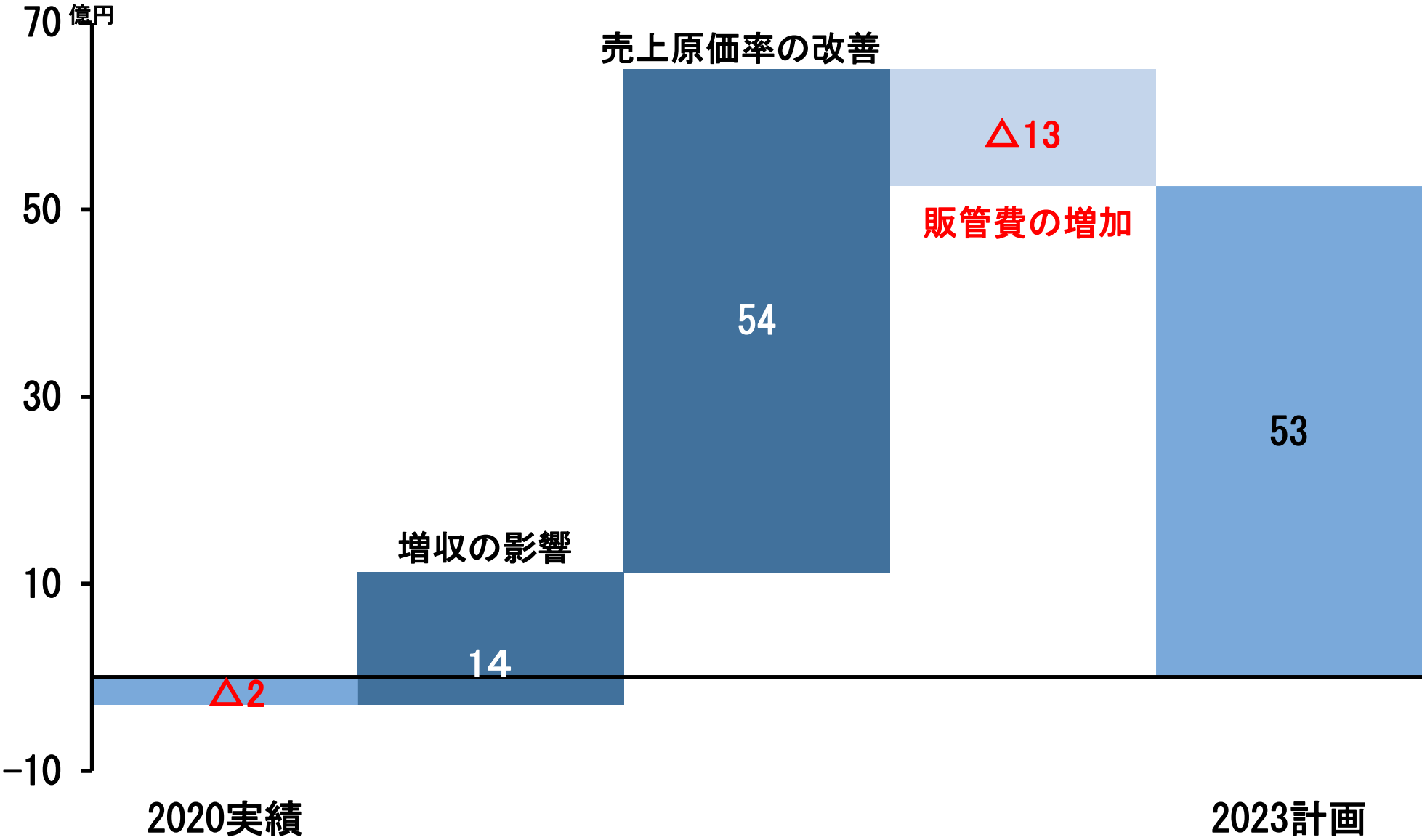
無機化学事業 高機能・高付加価値品販売比率



機能性材料 材料別販売計画

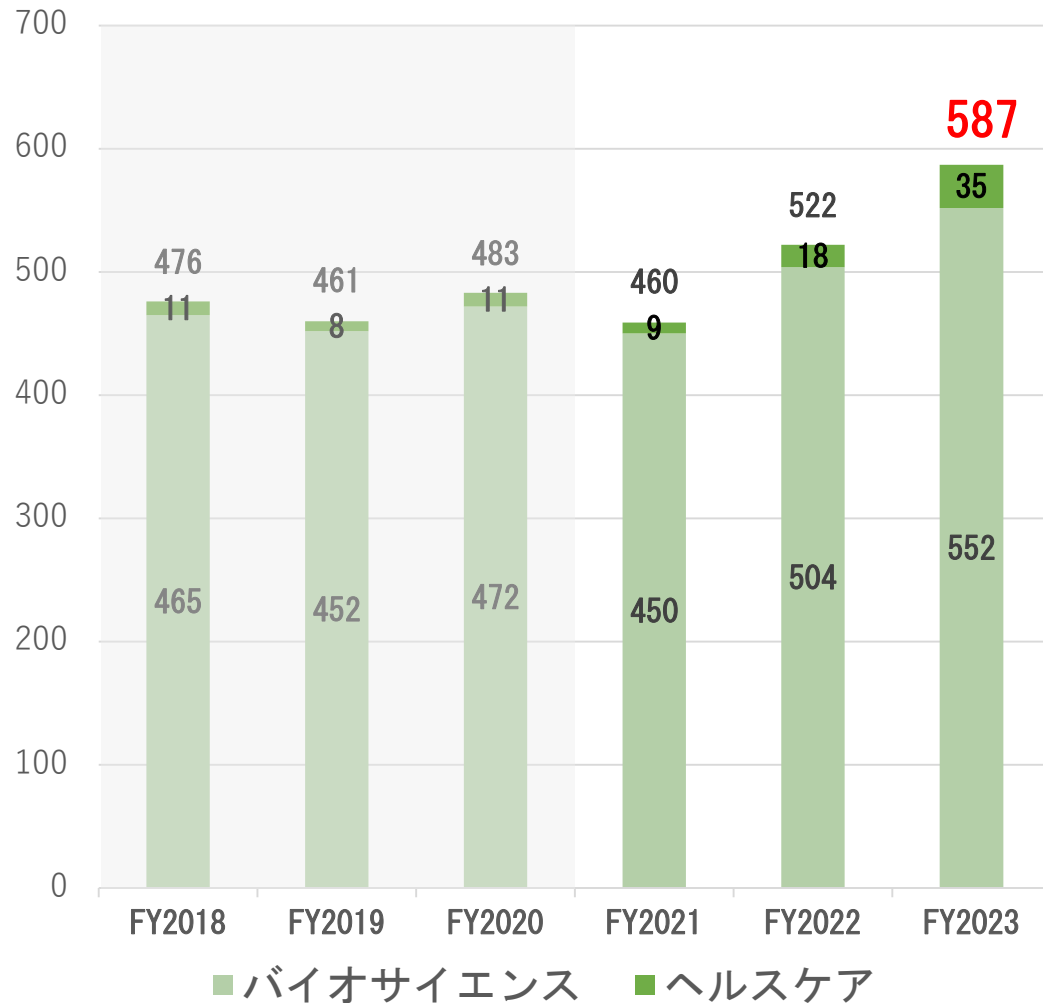


無機化学事業営業利益差異分析 (FY2020実績vsFY2023中計)

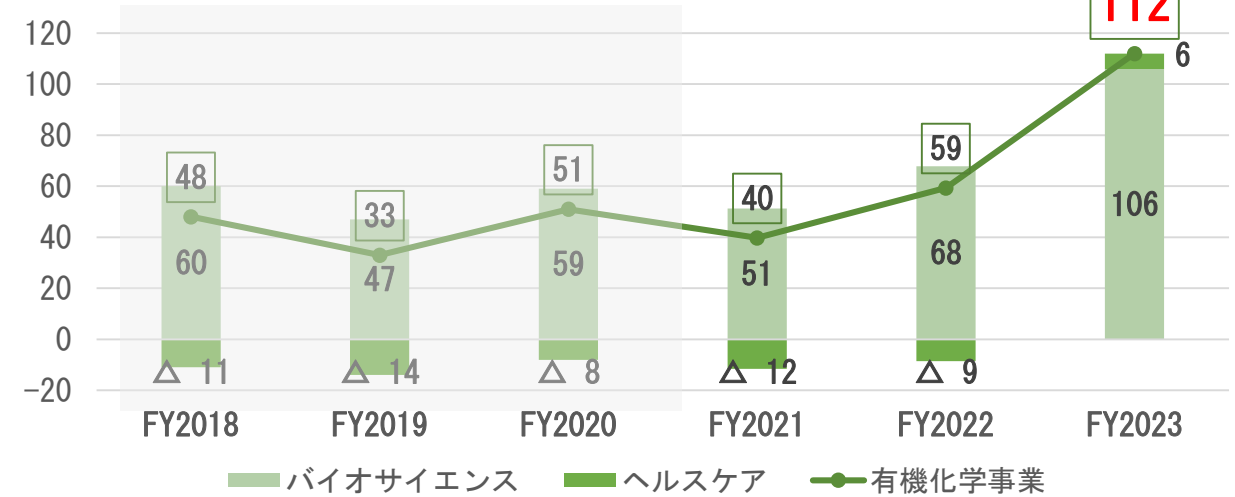


有機化学事業 売上高・営業利益計画(連結)

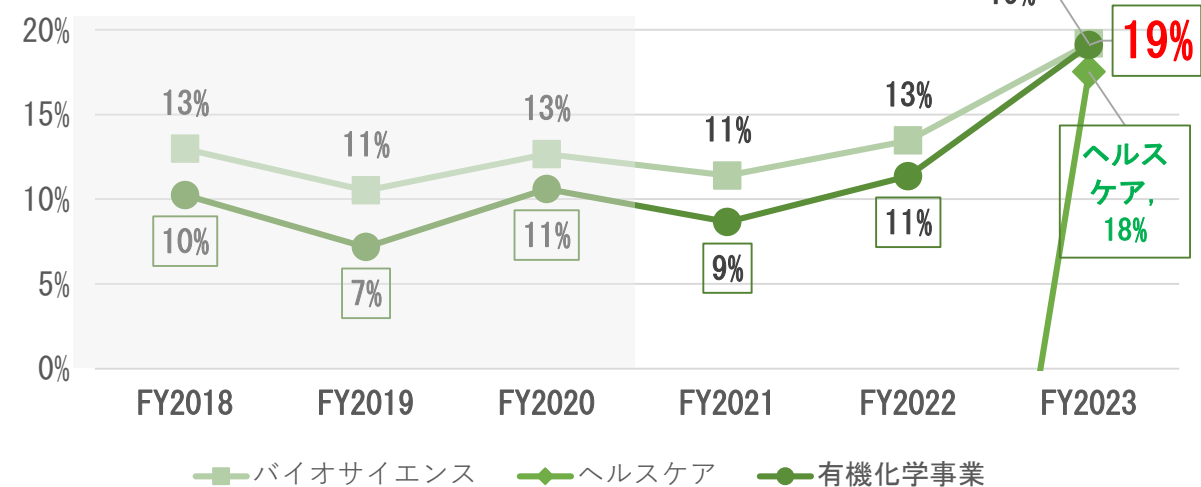
売上高 (億円)



営業利益 (億円)

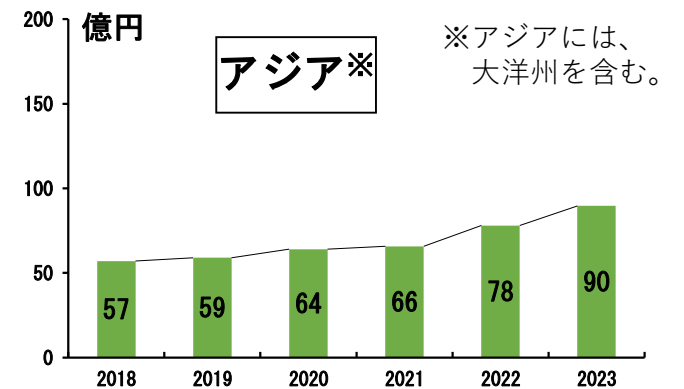
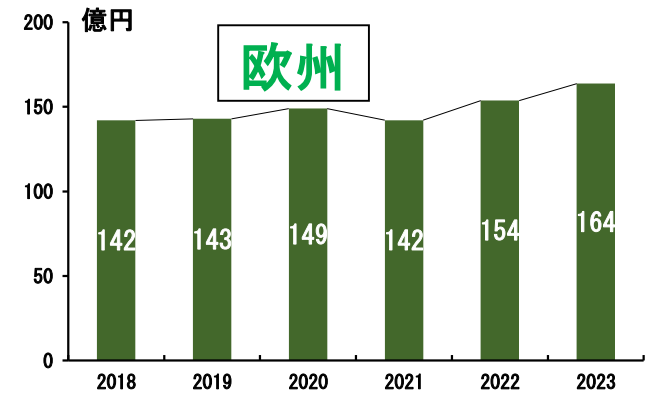
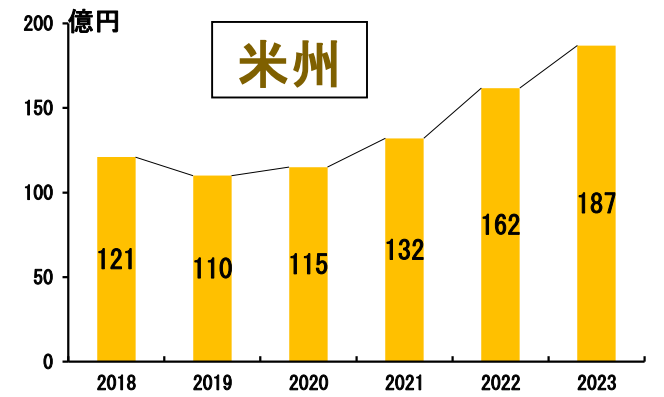
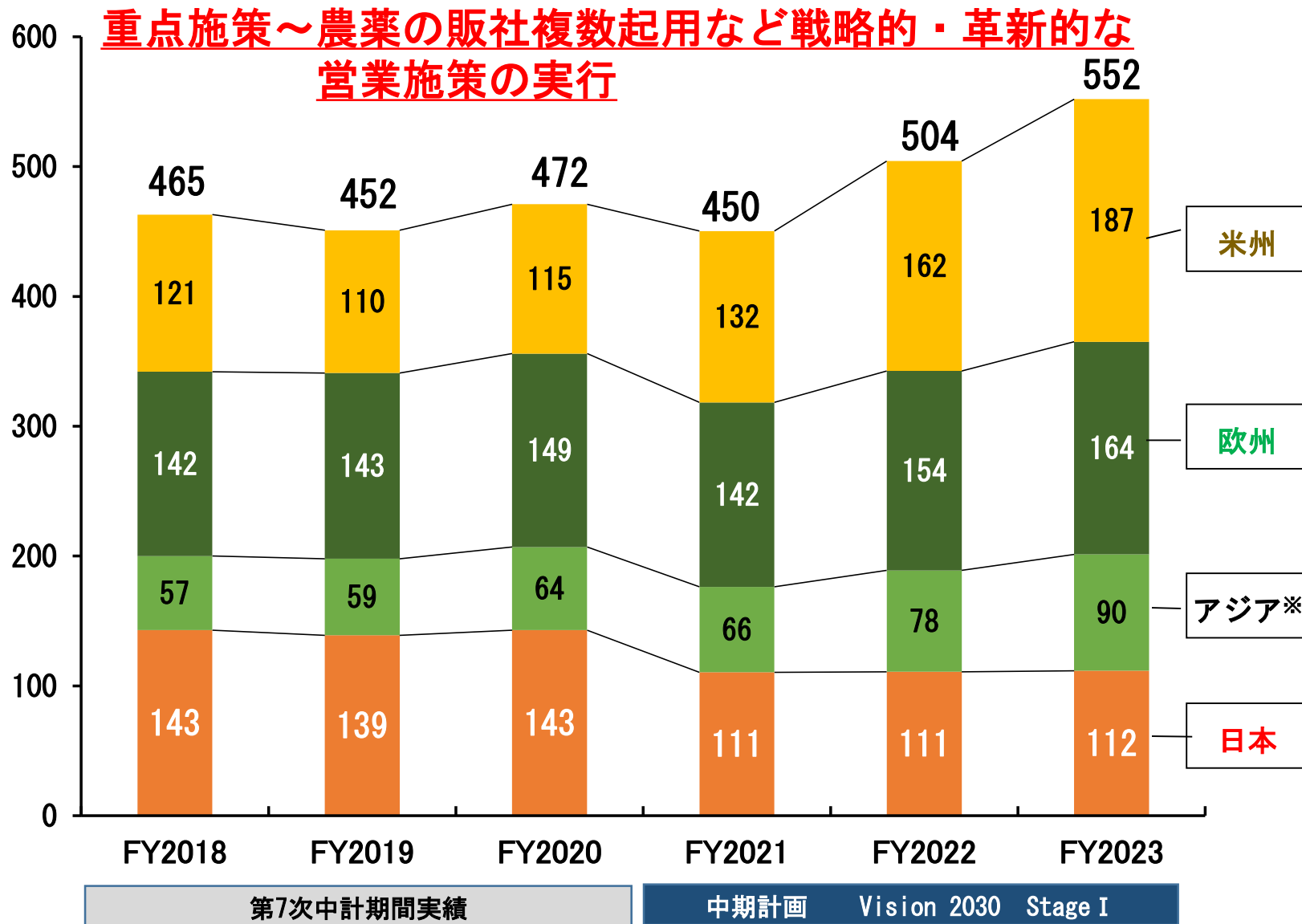


営業利益率 (%)



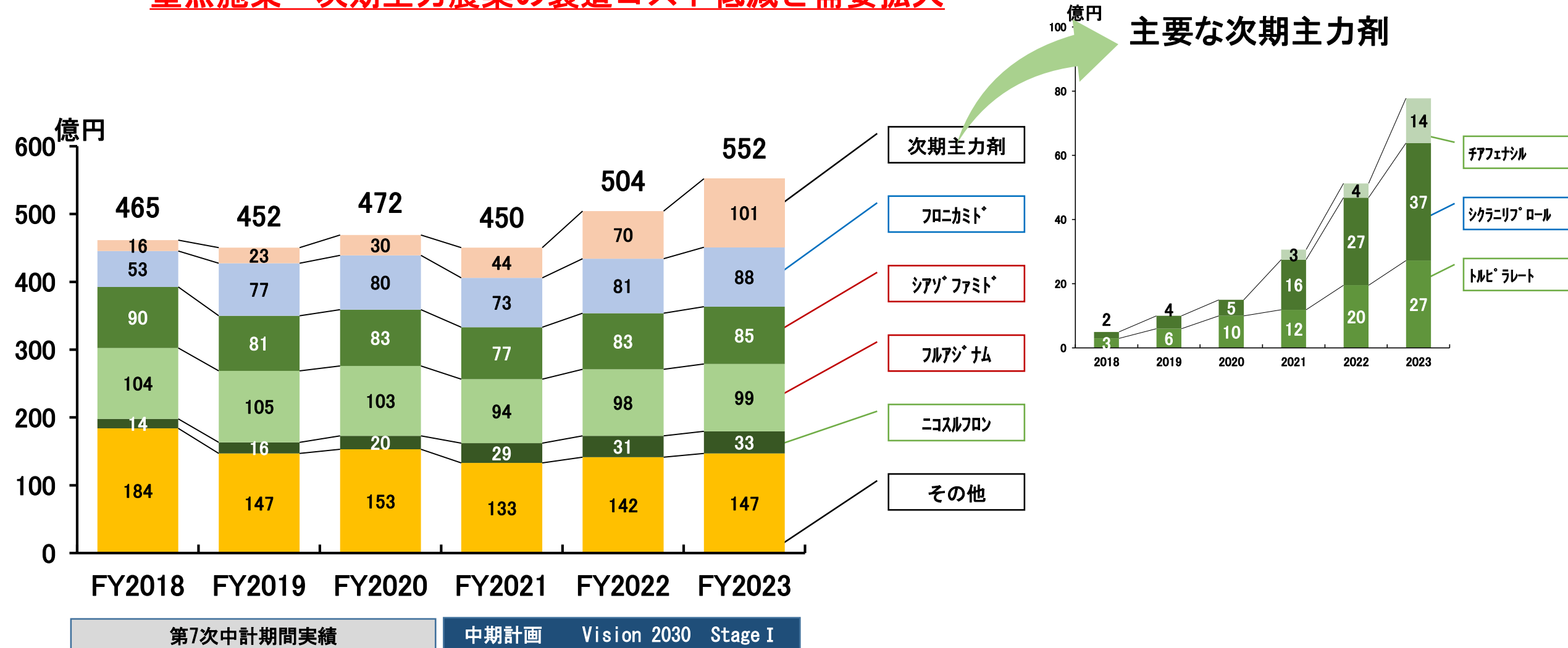
農薬 地域別販売計画

億円

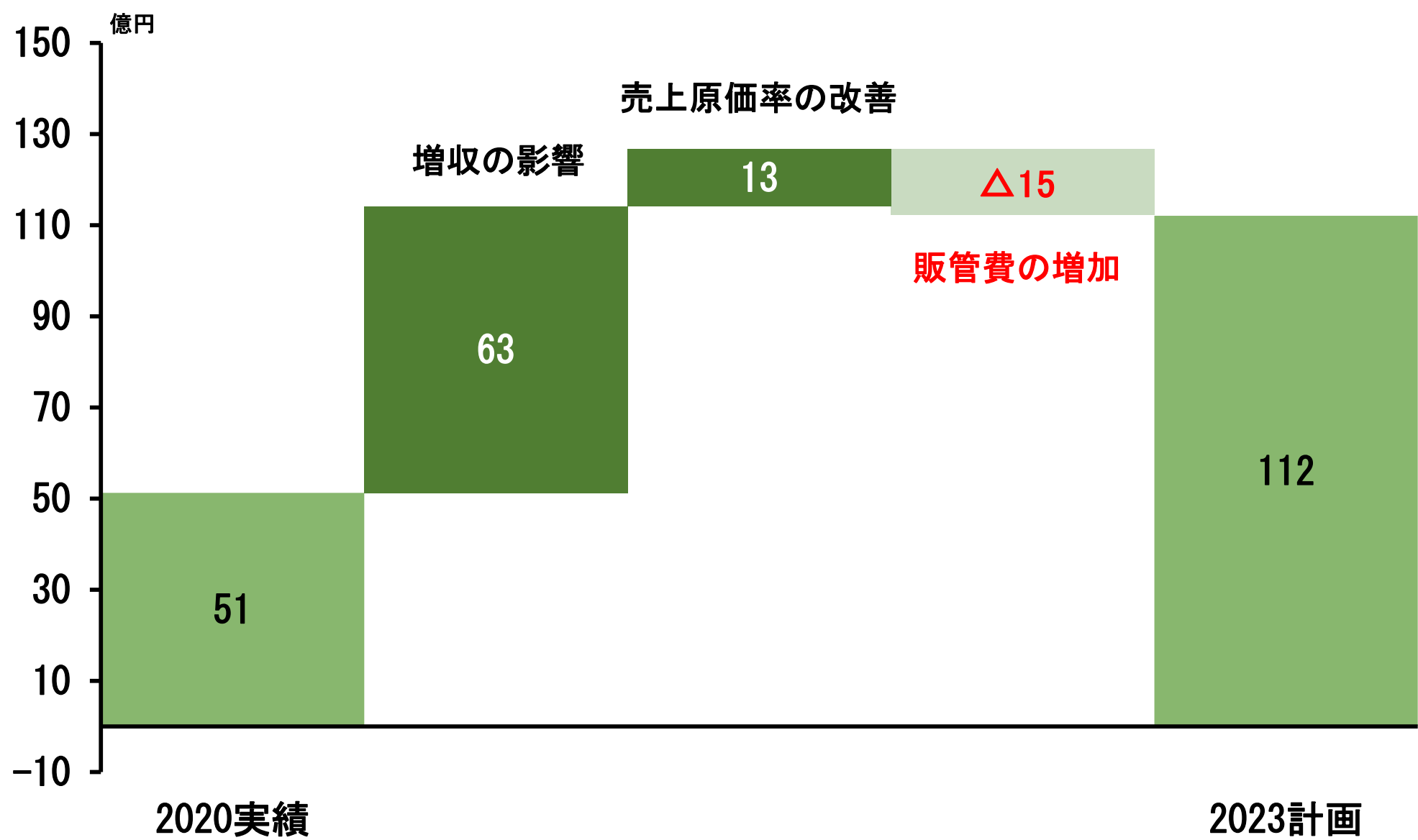


農薬 剤別販売計画

重点施策～次期主力農薬の製造コスト低減と需要拡大



有機化学事業営業利益差異分析 (FY2020実績vsFY2023中計)



完